

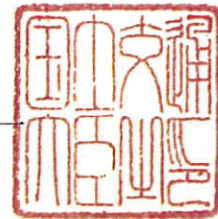


認 定 書

国 住 指 第 3725 号
平成 29 年 3 月 1 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 高下 貞二 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0902
2. 認定をした構造方法等の名称
排水管・シート付黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管継手／セメントモルタル
充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

排水管・シート付黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開 口 部	形状	円形(φ 209mm以下)
	面積	0.0343m ² 以下
占 積 率 (開口面積に対する管の断面積の割合)		51.6%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 120mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2及び管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
遮音シート	材料		
	組成 (質量%)		
	密度		
	厚さ		
	使用箇所	管継手部分	
被覆材	材料		
	厚さ		
	使用箇所	立て管(直管)：あり 横枝管①：あり又はなし 横枝管②～⑤：なし	
	外層	材料	
		組成 (質量%)	
		密度	
		厚さ	
	内層	材料	
		組成 (質量%)	
		密度	
		厚さ	
充てん材	材料	セメントモルタル	
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント	25
		砂	75
	使用箇所 (使用量)	床と管との隙間 (床厚方向120mm以上密に充てん)	

表3 管の仕様

項 目		仕 様	
排水管	立て管	直管	材料 黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管 (ただし外径及び厚さはJIS K 6741に規定する寸法)
			組成 (質量%)
			寸法 外径：φ140mm以下、内径：φ125mm以下
		管継手	材料 黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管継手
			組成 (質量%)
			寸法 外径：φ150.1mm以下、内径：φ140.7mm以下
	横枝管（2本以下）	①	材料 黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管 (ただし外径及び厚さはJIS K 6741に規定する寸法)
			組成 (質量%)
			寸法 外径：φ114mm以下、内径：φ100mm以下
		②	材料 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、VP管)
			寸法 外径：φ114mm以下、内径：φ100mm以下
		③	材料 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776、HT管)
			寸法 外径：φ114mm以下、内径：φ100mm以下
		④	材料 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (JIS K 9798、RF-VP管)
			寸法 外径：φ114mm以下、内径：φ100mm以下
		⑤	材料 耐火二層管
			材料 繊維混入セメントモルタル
			組成 (質量%) 普通ポルトランドセメント 70 (±10) 無機質混和材・軽量骨材 25 (±5) 有機質繊維 5 (±1) ただし、無機質混和材：炭酸カルシウム、石灰質、けい酸質繊維 軽量骨材：パーライト、凝灰岩系天然ガラス 有機質繊維：セルロース、パルプ、合成繊維
			寸法 外径：φ130mm以下、内径：φ116mm以下
		内管	種類：①～④ ①硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、VP又はVU) ②水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742、VP) ③耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776、HT) ④リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (JIS K 9798、RF-VP)
			寸法 外径：φ114mm以下、内径：φ107mm以下

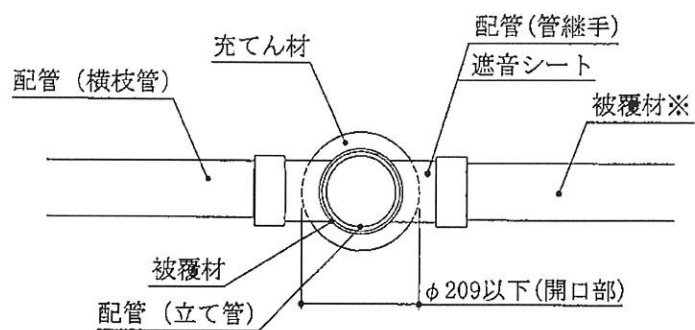
4. 副構成材料の仕様：
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

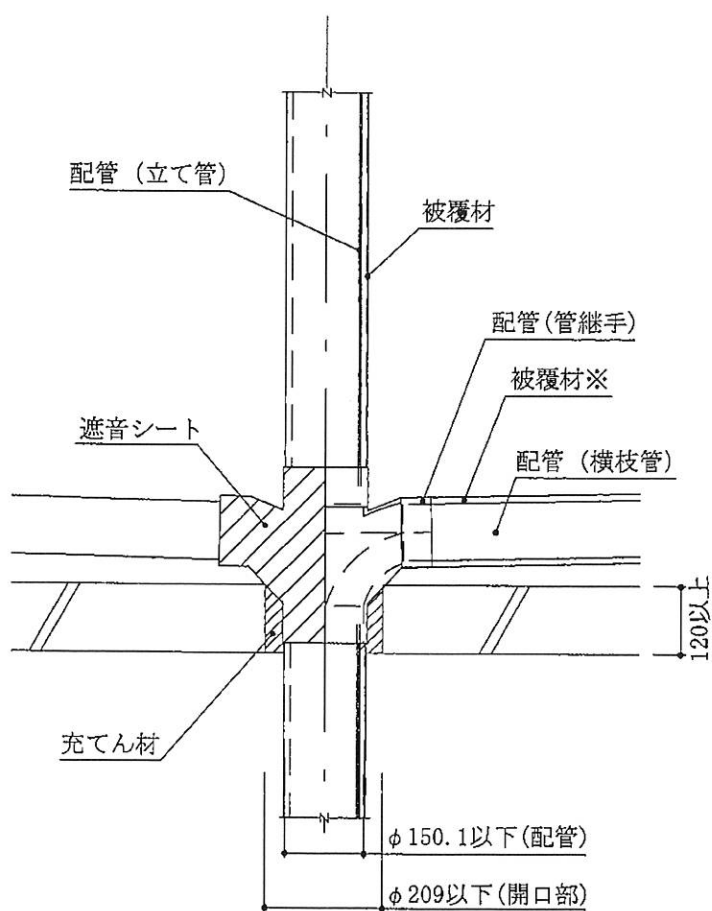
項 目	仕 様	
接着剤	材料	①又は② ①アクリル樹脂系 ②塩化ビニル・酢酸ビニル共重合樹脂系
	塗布量	20g以下/1ヶ所
	使用箇所	直管と管継手との接続用
テープ1	材料	
	寸法	
	使用箇所	被覆材の円筒状への貼り合わせに使用
テープ2	材料	
	寸法	
	使用箇所	被覆材の固定用
テープ3	材料	
	寸法	
	使用箇所	管継手部分(遮音シートの固定用)

5. 構造説明図：
構造説明図を図1及び図2に示す。

単位 mm



平面図

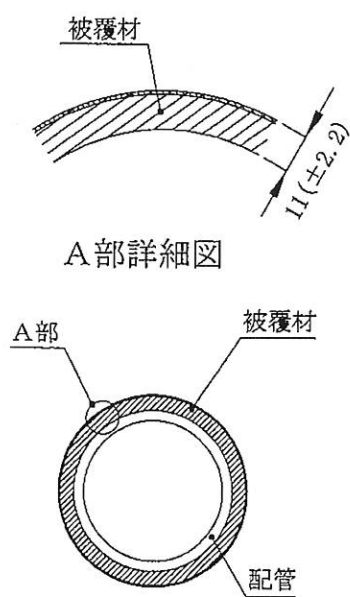


A-A' 断面図

※被覆材の使用条件
横枝管①:あり又はなし
横枝管②～⑤:なし

図1 構造説明図(施工図)

単位 mm



A部詳細図

被覆材の断面詳細図

図2 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、管の寸法、占積率、床の仕様、床の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

(2) 管の設定

直管、管継手を所定の位置となるように設置する。

(3) 直管と管継手の接続

管継手の上下接続部に排水管(立て管)を接続する。また、管継手の横枝管接続部に排水管(横枝管)を接続する。必要に応じて、管継手と立て管の接合部にテープを巻き付ける。

(4) 開口部の埋戻し

開口部と管の隙間に、充てん材(セメントモルタル)を密に充てんする。